



## ニッペ ファインルーフ Si 2液形シリコン系屋根用塗料

## 特 長

- ・弱溶剤系であるため、臭気がマイルドで、下地を選ばずに塗装できます。
- ・乾燥が速く、作業性にすぐれています。
- ・耐候性、光沢保持性が非常に優れています。
- ・高光沢であり、キラ艶感に優れます。
- ・鉛、クロム顔料を一切使わない環境にやさしい塗料です。

## 塗 料 性 状

		塗 料 液 (主剤)	硬 化 剤	
色		各色	無色	
密度(g/cm <sup>3</sup> )(23℃)		1.17		
光 沢		つや有り		
引 火 点		41	41	
発 火 点		288 (参考値)	454 (参考値)	
消 防 法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料	
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)	第4類 第2石油類(非水溶性)	
	危険物等級	III (火気厳禁)	III (火気厳禁)	
有 機 溶 剤 区 分		第3種	第3種	
毒 劇 物 表 示		-	-	
有 害 物 表 示		-	ポリイソシアネート	
国 連 / 指 針 番 号		1263/128	1866/128	
環 境 性 能	ホルムアルデヒド	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず
	キシレン	1%	パラジクロロベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイズ油	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず
T V O C		43.8%		
商 品 ラ イ ン ナ ッ プ		コーヒークラウン、エンペラブル、チョコレート(N)、サンレッド、パール、ナイスブルー、ブラック、セリアンブルー、モスクグリーンS、ブラックネス、マーズレッド、ビーバーレッド、ニューライン、アッシュクラウン、アイビー、マスクグリーン、ダークセピア、チャコルグリーン、サーフブルー、マウンティングブルー、ナックルグリーン、ブルーブラック、アイベリ、ホワイト		

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

## 塗 装 基 準

混 合 剤：  
荷 姿：  
ポットライフ：  
希 釈 剤：  
塗 装 方 法：

2液形のため、「塗料液(主剤)：硬化剤=9：1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。

15kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤=13.5kg：1.5kg)

6時間(23℃)

塗料用シナー-A

塗 装 方 法	はけ、ウールローラー塗り	エアレススプレー塗り
希 釈 率	0～10%	5～15%
使 用 量	0.12～0.18kg/m <sup>2</sup> /回	0.12～0.18kg/m <sup>2</sup> /回

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

・使用量は次を目安にして下さい。鋼板屋根：0.12～0.14(kg/m<sup>2</sup>/回)、スレート屋根：0.15～0.18(kg/m<sup>2</sup>/回)

## 乾 燥 時 間：

	5～10	23	30
指 触 乾 燥	60分	30分	20分
塗 り 重 ね 乾 燥	4時間以上7日以内	3時間以上7日以内	2時間以上5日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 注意事項

- ・水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮すき、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
- ・水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください（光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因となります）。
- ・下地調整が不十分だと塗膜ははく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ9.8MPa (= 100kgf/cm<sup>2</sup>)以上の高圧水洗が金属ワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- ・昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や膨れ、割れ、はく離の原因になります。
- ・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、「ニッペファイン浸透造膜シーラー」、「ニッペファインパーフェクトベスト強化シーラー」をご使用ください。
- ・粘土瓦（いびし瓦、釉薬瓦など）には使用しないでください。なお、洋風コンクリート瓦については、最寄の営業所にご相談ください。
- ・下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。
- ・なみがたタタンの山の部分やタタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、膜が薄くなりがちです。先に拾い塗りするのが長持ちさせるコツです。
- ・塗り重ねは規定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。硬化が不十分な場合は、塗料用シンナーで再溶解するおそれがあります。
- ・鉛酸カルシウムさび止めは、下塗りに使用しないでください。
- ・塩ビ鋼板の上の塗装は、避けてください。ただし、経年でつやが引けているような塩ビ鋼板に対しては、変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに使用することで塗装できる場合があります。詳細は事前にご相談ください。
- ・積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部にこすり付けるように増し塗りを行ってください。
- ・塗り替え後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますのでご注意ください。
- ・無石綿スレート板に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。
- ・十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。
- ・ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- ・さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・異なる色相を塗り重ねる場合（例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など）2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色（ブリードにより）する場合がありますのでご注意ください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved.

この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。